



S-class LINE 公式アカウント

April
2018
#005



2007年に日本で生まれた子どもの半分は、107年以上生きるという予想があります。そんな時代の新しい人生戦略を提示した書籍『LIFE SHIF'T』が大ヒットしたのをご存知の方も多いかもかもしれません。

寿命が伸びることで、今まで常識だったライフスタイルも大きく変わることが予想されています。これまでは①教育、②仕事、③引退という3ステージをみんなが同じようなペースで進める人生でした。

100歳以上生きると考えると、3ステージの人生は少し苦しいものがあります。寿命が伸びるといことは健康でいられる期間が長くなるということです。そうなるとう仕事にかける期間がものすごく長くなって、定年まで仕事だけという活動の仕方は少し無理があるように感じられます。



それに加えて、先が読めない時代です。それからの収入で、フルタイムで一つの分野だけの収入では、長い人生を続けられないかもしれません。そんな背景から、就職してからの学び直しや副業、他業種での経験など、様々なステージの活動を転々としていくことが提案されています。

社会人になってからの学び直しは、リカレント教育と呼ばれて注目されています。政府がリカレント教育を推進している効果もあるのか、学び直しを支援したり、副業を認める企業も徐々に増えてきています。

社会人向けの学び直しの場も広がっています。大学や大学院はもちろんです。大人向けの講座を開く教室もどんどん個性的なものが増えてきています。そしてなんと、オンラインで受講できるスクールの存在はかなりの大きいといえるでしょう。オンライン講座は時間的にも費用的にも社会人の学び直しにうま〜くフィットしています。

スクールだけでなく、異業種や異職種で働くことも学び直しの一つになっています。他の職場で働くという経験をして、自分の専門分野以外のスキルも身につける、「他社留学」という実践的な学びも始まっています。大手企業の社員がベンチャー企業に他社留学したり一時的に移籍するなどの取り組みがあるようです。

長い人生を生きていく上で、学び続けることはますます重要になってくるようです。そう考えると苦しんで学んで仕事をするのではなく、自分の好きなことを長くずっと学んでいくのが一番これからの時代に合っているのかもしれないですね。

4月のトピックス

Topics

今

今年の中3受験生は全員、第一志望校に合格でした！県立高校、高専、私立専願などそれぞれの進路がありますが、よくがんばってくれました！おめでとうございます！

大学受験も高校受験も、合格できたのは生徒本人の力です。塾の力は関係ありません。ご家庭

でもがんばりをほめてくださるとうれしいです！

今年の高校入試ですが、国語、数学が難しくなりました。数学は数字よりも文章の量が増えています。計算が得意だから数学が得意という生徒はかなり厳しい試験になったと思います。英語は例年通り安定して点数が取れるので、受験対策としてはまず最初力をいれるべき科目ですね。

入試全般に、いよいよ小手先のテクニクや丸暗記が通用しない入試になってきました。時間をかけて頭を使った人が有利になる、いい傾向だと思います。



夢が なかったら？

「あ

なたの夢はなんですか？」そんなことを学校の総合的な学習の時間で考えたそうです。話をしてくれた生徒も言っていました。この質問、結構困ります。

あまりにも大きすぎる夢だと不可能だといわれ、堅実すぎてすぐ達成できてしまう夢も歓迎されません。仮面ライダー

になりたいとか、コンビニのレジ打ちになりたいという夢は認められないことがほとんどで、大人たちの要求する「夢」のストライクゾーンはかなり狭いようです。

夢がないことが悪いことみたいな感じを受けますが、実際は夢がなくていいんじゃないかと思えます。

大人になって実感しますが、身近な人を見てみても学生時代の夢を実現した人は実際にはかなり少ないです。そして夢がなかった人も、なんとか幸せに過ごしているわけです。

夢に向かって努力する人はすばらしいです。ただ、ふつうの人は無理に夢を持つ必要はないのかもしれません。夢があってもなくても、目の前の小さなことをこなしていくしかないですからね。

vol.5

S-classの



スタッフコラム

「部活をやめたくなるタイミング」

Staff Column

最

近はブラック部活と呼ばれて問題視されていますが、そこまでシリアスなテンションではなく、ごく普通に部活の話が高校生としていました。部活をやめたくなるタイミングがあるけど、結局はやめない、というお話でした。部活でかなりの時間が取られてしまっただけの自由な時間がないと言っているのが悩みのようです。もし部活に使う時間があるなら、その分を自由時間にしたいとふと思うことがあるそうです。

もっと時間があつたらいいなというのは誰もが思うことです。でも実際には時間があるからといって必ずしも充実した時間が取れるわけではなく、ついついだらだらしてしまうというのはよくあることです。私も身に覚えがあります。「〇〇があつたらもっと〇〇できる」と思うのに、いざ実現してみると思った



今月の担当者

三國 清志

青森市出身、青森高校55回生。TCS認定コーチ。のんびり自由に塾を運営しています。高校入試の翌日、息子が産まれました。

より充実感がない。それもまた人生だなあと話すその生徒としていました。私自身は、中学時代は部活に入ることが強制だったので、バドミントン部に所属していました。高校では部活に入る事は強制ではなかったのですが、どの部活にも入らずに過ごしました。

強制でない部活をやるというのは私からすると、かなり気持ちに余裕があるというか、優雅な活動という感じがします。嫌だと言いつつ続けるのもすごいことだと思つて尊敬してしまいます。

みなさん部活で苦労したり、充実した時間を過ごしたりと様々なようです。部活経験の薄い私としては、どついつい気持ちで部活に打ち込んだのかぜひ色々な人に聞いてみたいです。

